

生活文化スポーツ部経営方針（令和4年度）

生活文化スポーツ部長

八角 千里

産業振興担当部長

徳永 孝正

生活文化スポーツ部参事（多様性社会・男女共同参画推進担当）

高松 春美



◆部長職からひとこと

生活文化スポーツ部長 八角 千里



生活文化スポーツ部は、多様な主体との連携・協働により、「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に連なる取組を多面的に展開し、市民交流や地域活動の支援を通じて、市民生活の質の向上や地域の活性化に取り組んでいます。

一昨年から生じているコロナ禍の影響下において、各種イベントや地域活動も様々な影響を受けるなど、市民生活を取り巻く環境は大きく変化しました。こうした社会が変化する中であっても、人と人とのつながりを大切にし、心豊かなまちづくりを推進していきます。

令和4年度は、現行基本計画の最終年次として、芸術・文化振興・地域コミュニティ・男女共同参画・スポーツ振興などの各分野における施策・事業について、コロナ禍による影響や社会環境の変化に適切に対応しながら、今後の展望も見据えつつ、諸課題への対応や各種取組の着実な推進を図ります。ラグビーワールドカップや東京2020大会を契機として、多様な主体との連携・協働により推進してきた取組について、共生社会の充実を目指す「パラハートちょうふ」の取組をはじめ、大会のレガシーとしての取組の継承や発展につなげていきます。

産業振興担当部長 徳永 孝正



今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、地域経済活性化に向けた取組の指針となる（仮称）商業振興・活性化プランの策定に向けて、多様な主体と連携して取り組んで参ります。

また、コロナ禍における市内事業者等の支援については、引き続き、国や東京都の動向を注視しながら、令和3年度事業所経営実態調査の結果や地域経済対策会議での議論も踏まえ、市の実情に即した適時適切な対応を図って参ります。

観光振興においては、創意工夫を凝らしながら、事業の実施方法を検討し、「にぎわいの創出」につながる取組の推進を図ります。とりわけ、令和4年は、名誉市民・水木しげる氏の御生誕100周年にあたることから、水木プロダクションをはじめとする関連企業等と連携した様々な記念事業を展開し、御功績を後世に伝えつつ、まちづくりにも生かす取組を一層推進して参ります。

農業振興においては、市民農園、学童農園の新規開設やマルシェの開催、都市農地保全の支援プロジェクト事業の実施など、農業振興計画の着実な推進に向け、関係機関・団体との連携を図って参ります。

生活文化スポーツ部参事（多様性社会・男女共同参画推進担当） 高松 春美



「寿退社」が当たり前の時代に民間企業に就職。女性は制服、2年目からは男性同期との昇給に差がありました。それから35年。

令和となり、諸制度や人々の意識も変わっています。それでも、まだまだ声を上げていかなければなりません。

多様性についても同じ。すべての人の権利が守られ、生き生きと活躍できる社会となるよう進めていきたいと思ひます。

職員数

正規職員57人（うち管理職13人）

◆予算（当初）

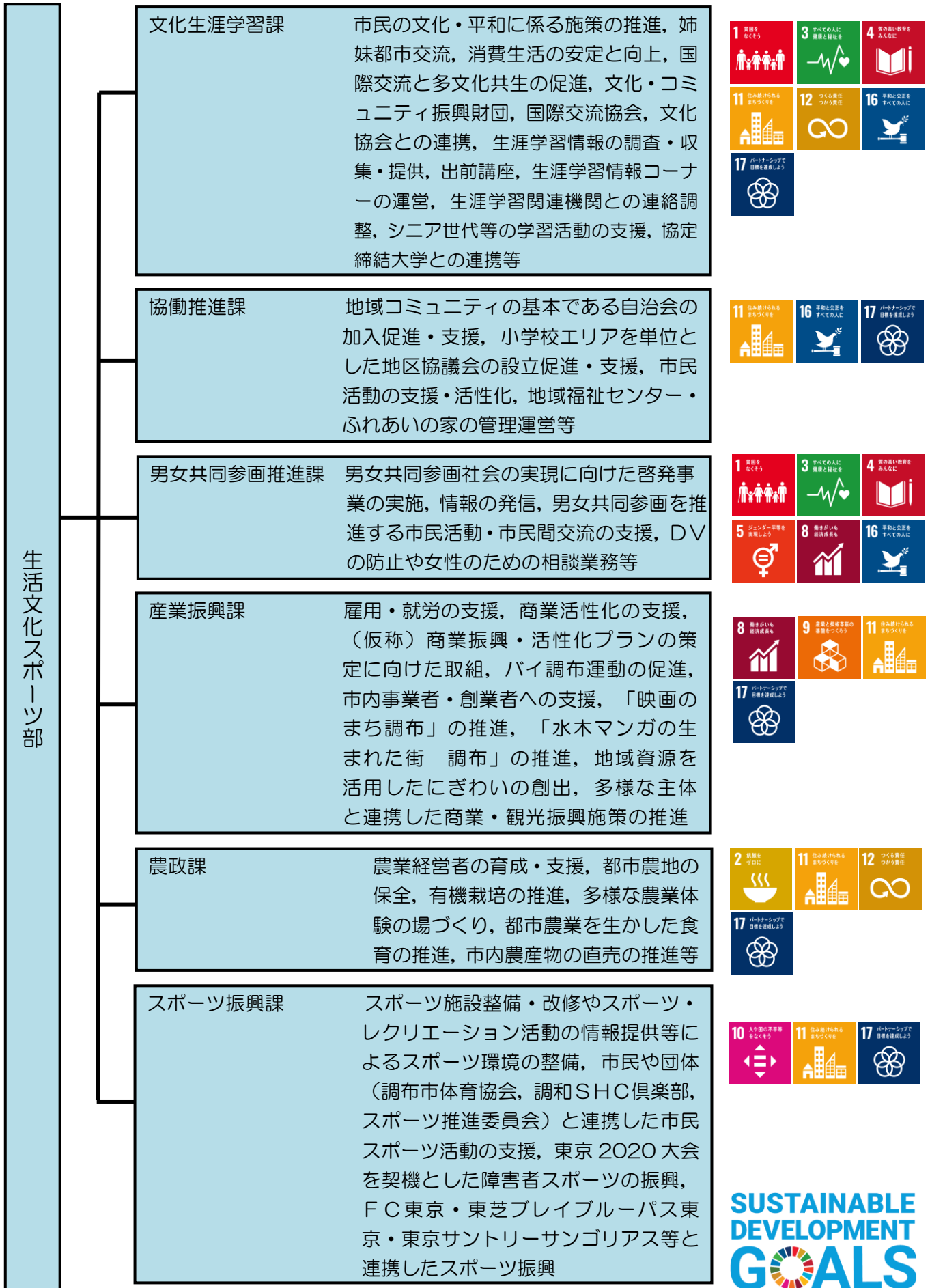
一般会計

歳入 1億7341万6000円

歳出 35億7601万円

（職員人件費を除く）

◆組織体系図及び各課所管事業とSDGsの17の目標との関係



◆生活文化スポーツ部の現状と課題

<現状>

- 生活文化スポーツ部は、基本計画に基づき、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団や公益社団法人調布市体育協会、国際交流協会、文化協会、商工会、観光協会等の各団体と手を携えて、市民が健康で明るく活力に満ちた生活ができるよう市民生活に結びつく施策を推進しています。
- 各課が所管している文化施設やコミュニティ施設、スポーツ施設など40を超える公共施設について、市民が安全に安心して利用できるよう施設管理に努めています。
- コロナ禍において、文化・コミュニティ・スポーツ活動を含む社会経済活動の再開・回復についても、感染拡大防止対策と並んで対処すべき課題の一つであり、「調布市公共施設の開館・利用における感染拡大防止ガイドライン」に基づき、感染拡大防止対策を講じた上で、公共施設の利用や各種事業、イベント等における適切な対応及び状況に応じた効果的な事業展開を図る必要があります。

<課題>

- 「パラハートちょうふ～つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち」をキャッチフレーズに進めてきた共生社会の重要性を市内外に発信する取組をはじめ、東京2020大会を契機とした各種取組の推進に当たり、これまで構築してきた様々なパートナーシップを庁内横断的な連携の下、多様な分野で生かしていくとともに、ソフト・ハード両面にわたる取組を一過性のものとせず、大会のレガシーとして継承・発展させていくことが重要です。
- 指定管理者制度を導入している文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場、総合体育館、各ふれあいの家、市民プラザあくろすについては、市民ニーズに適切に対応するとともに、効果的、効率的に制度を活用できるよう評価・検証していくことが必要です。
- 施設の管理運営に当たっては、施設・設備の老朽化や経年劣化等を踏まえ、計画的な維持保全に取り組むとともに、利用者の声や地域の特性を踏まえた創意工夫が必要です。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、市民の安全確保を第一として、市民の生活様式の変化に応じて、市民や事業者等のニーズを的確に捉えながら、市内の活気やにぎわいを創出する文化・芸術・スポーツ・観光をはじめとした各種取組を効果的に展開していくことが必要です。
- 新型コロナウイルス感染症による市内事業者の経営への影響は継続しているため、国や東京都の動向を注視しつつ、引き続き商工会をはじめとする関係団体との一層の連携を図りながら、市内事業者の支援、市内消費喚起に取り組んでいく必要があります。

◆生活文化スポーツ部経営方針

「計画の着実な推進と多様な主体との効果的な連携」

現行総合計画の最終年次として、文化振興・生涯学習・協働推進・男女共同参画・産業振興・農業振興・スポーツ振興の各分野における施策・事業について、市民・団体・企業等との連携、民間ノウハウの積極的な活用など事務・業務の改善を図りつつ、コロナ禍に伴う影響や社会環境の変化に適切に対応しながら、諸施策の着実な推進と実効性向上に取り組めます。

引き続き、基本計画に掲げる11の施策及び25の基本計画事業を着実に推進するとともに、「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づく取組を積極的に推進し、横断的な連携を強化することで、市民主体の芸術文化・スポーツの振興、調布のまちの魅力の向上・発信に努めます。

「指定管理者制度の活用」

文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場、総合体育館、各ふれあいの家、市民プラザあくろすについて、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業実施につながるよう、指定管理者の指導監督に努めます。また、モニタリング評価等を通じて、市民サービスの維持・向上を図っていくとともに、監理団体を指定管理者に指定している施設については、令和4年度実施予定の第三者評価を通じ、取組の評価や施設管理・事業の効率化の促進につなげていきます。

「老朽化等を踏まえた適切な施設管理」

所管する文化、スポーツ、コミュニティ施設などの公共施設については、各施設を取り巻く状況を踏まえ、利用者が安全で快適に施設を利用いただけるよう、経費削減に向けた工夫なども考慮しつつ、計画的な維持保全・改修に取り組む、公共施設マネジメントの推進に取り組んでいきます。

◆生活文化スポーツ部の横断的連携による施策の推進

・新型コロナウイルス感染症や風水害等の危機管理に関する対応

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、所管する文化・コミュニティ・スポーツ施設の管理運営においては、「調布市公共施設の開館・利用における感染拡大防止ガイドライン」に基づき、各施設の状況や特性に応じて適切な感染拡大防止策を講じながら、庁内各部署及び関連団体との連携の下、適切な対応を図ります。

また、新型コロナウイルス感染症への対応として、緊急対応の柱の一つである「地域経済への支援」については、融資制度の拡充や感染症対策への補助を継続実施するとともに、令和3年度事業所経営実態調査の結果や地域経済対策会議における議論を踏まえ、国や東京都の動向を注視しつつ、引き続き、商工会をはじめとする関係団体との一層の連携を図りながら、地域の実情に即した適時適切な対応を図っていきます。

令和元年台風第19号対応での教訓を生かし、監理団体との災害時における協定を実践的なものとするため、平時からの連携や、文化会館たづくり・グリーンホールにおける避難所開設訓練を通じて、避難所や一時収容施設としての体制整備を図り、危機管理及び防災・減災に向けた対策を講じます。併せて、自治会・地区協議会をはじめとする各関係団体等との連携による被災状況の的確な把握、災害発生から復旧・事業再開に至るまでの市民への効果的な情報提供等について、庁内各部署や関係団体と連携しながら対応を進めます。

・行政のデジタル化による市民の利便性向上や事務の効率化に関する取組

新型コロナウイルス感染症対策としての各事業・イベント等における動画配信を含むオンライン化により、新たな市民の参加機会拡大にもつなげていくほか、各種会議におけるWeb会議の積極的な導入により、効率的な会議運営の推進を図ります。

また、クリーンセンター跡地に開業した商業施設「BRANCH（ブランチ）調布」内に設

置するふじみ交流プラザの利便性向上を図るため、集会室のオンライン予約システムを導入します。併せて、市内に10館ある地域福祉センターにおいて、予約システムの導入に向けたWi-Fi環境の整備に取り組みます。

● 共生社会の充実に向けた取組

共生社会の充実を目指す「パラハートちょうふ」をはじめ、2019年のラグビーワールドカップ及び東京2020大会を契機に創出した有形・無形の様々なレガシーを多様な主体と連携しながら、継承・発展させていきます。

併せて、多様な性における人権の尊重と理解促進を図るとともに、人権を取り巻く課題整理や体制整備を図り、同性パートナーシップ制度の導入に取り組みます。

● 多様な主体と連携した社会経済活動の維持・再活性化に向けた取組の推進

京王電鉄やイオンエンターテイメント等、各関係企業、商工会、商店会及び観光協会等と連携し、社会経済活動の維持・再活性化に取り組みます。

● 「映画のまち調布」の推進

イオンシネマ シアタス調布を含む映画・映像関連企業や団体と連携しながら、「映画のまち調布 シネマフェスティバル」をはじめとする映画関連事業を実施し、「映画のまち調布」の推進につながる施策の更なる充実を図ります。

また、ロケツーリズムの推進に向け、他自治体との広域的な連携の下、フィルムコミッション事業に積極的に取り組みます。

● グリーンホールに関する整備の検討

築40年以上が経過しているグリーンホールについては、関連部署との連携の下、現敷地における更新に向け、コロナ禍による民間事業床の需要変化などの課題を踏まえた事業スキームを継続して検討します。併せて、ソフト・ハード一体となった調布駅周辺の将来イメージを作成し、民間事業者の需要喚起につながるコンセプトの検討に取り組みます。

また、施設利用者等の意見も踏まえながら、施設整備の考え方の整理やホール機能等の検討に取り組みます。

● DV（ドメスティック・バイオレンス）の根絶及び被害者の情報管理の徹底

配偶者暴力の防止に関する意識の向上を図るとともに、各種専門機関等と連携し、相談ケースに応じたきめ細かな支援を実施します。

また、DV被害者と接する可能性のある窓口関係部署と連携し、DV被害者の個人情報保護に取り組みます。

● 多様性社会の実現

令和4年度からの男女共同参画推進プラン（第5次）に基づき、多様な性における人権の尊重と理解促進を図ります。また、人権を取り巻く課題整理や体制整備を図り、同性パートナーシップ制度の導入に取り組みます。

● 都市農地の保全・活用

都市農地については、改正生産緑地法や改正都市緑地法等を踏まえ、関係部署と連携し、農地の保全を図るとともに、防災機能の強化として災害時には誰でも使える防災兼用農業井戸の整備等を進める都市農地保全支援プロジェクト事業の実施、農業経営の支援や市民農園の運営等により、農地の持つ多面的機能の発揮に取り組みます。

● 障害者スポーツの振興

東京2020大会、とりわけパラリンピックを契機としたレガシーを継承・発展させていくため、各競技団体や関係団体と連携した障害者スポーツ体験会や市内スポーツ施設と連携した障害者の施設利用促進事業等の実施により、障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツに親しむ機会を創出することで、スポーツを通じた障害理解の促進や共生社会の一層の充実に向けた取組を進めます。

取組の推進に当たっては、障害福祉課や東京都、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会等の関係団体と連携し、スポーツ分野と福祉分野の関係者による「調布市障害者スポーツの振興における協議体」を活用し、共生社会の充実に向けた課題整理や情報の提供・共有を行うとともに、障害者スポーツの振興における課題解決に向けた各種取組を推進します。

◆各課の基本的な目標・方針等

文化生涯学習課

・「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進

「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき、文化協会をはじめとする市民団体や文化・コミュニティ振興財団など多様な主体との連携により、芸術文化への市民の関心や活動の拡大、次世代のアーティストの育成、伝統文化の再認識と継承につながる事業展開を図るとともに、市民が身近に芸術文化に親しむ機会を創出します。

また、オリンピック・パラリンピック開催を契機として、芸術文化における共生社会の充実を目指し、障害理解の更なる促進を図ることを目的に平成29年度から継続している「パラアート展」について、今後のより効果的な事業展開を見据えながら、関連団体との連携の下、事業を発展させていきます。

・平和祈念事業、国際交流と多文化共生の促進

幅広い年齢層の市民に平和について考える機会を提供するため、各種平和祈念事業を実施します。

また、戦争体験や平和への想いを風化させることなく継承するため、市民の戦争体験や被爆地への平和派遣や平和学習を経験したピースメッセンジャーの学びを広く市民へ伝えるなど、平和の大切さや命の尊さを次代へ語り継いでいきます。令和4年度は、長崎市へ中学生を派遣するとともに、水木しげる氏生誕100周年の取組の一環として、水木作品を活用した「水木しげる平和祈念展（仮）」による平和教育の推進を図ります。

国際交流の促進においては、世界の様々な文化や人々との相互の認識と理解を深め、共に暮らしていける地域社会づくりを促進するため、国際交流協会との連携の下、外国人専門家相談会の実施や外国語版生活ガイドブックの作成をはじめとする外国人支援事業及び各種国際交流事業を実施します。

また、サウジアラビア王国との交流20周年の節目として、交流の契機となったサッカーワールドカップ開催期間に合わせた「サウジアラビア文化展」の開催など、更なる交流の促進を図ります。

・姉妹都市木島平村との交流

より多くの市民に姉妹都市木島平村の魅力を伝えるとともに、更なる交流の推進を図るための事業展開を図ります。

・生涯学習のまちづくり

令和4年度を計画の最終年度とする「調布市生涯学習振興プラン」に関して、現行基本計画での位置付けや生涯学習を取り巻く状況を踏まえ、次期基本計画において生涯学習振興に関する基本的な考えや取組の位置付けなど、現行プラン終了後を見据えた検討や課題整理を行う中で、学びのきっかけづくりや学習機会の充実に取り組めます。

また、生涯学習まちづくり推進員と連携し、生涯学習情報コーナーでの情報提供・相談事業のほか、市民との協働により実施するシニア世代を主な対象とした地域デビュー事業やサークル体験事業の実施、多様な学習機会の提供に取り組むなど、生涯学習のきっかけづくりや活動の継続・発展に向けた支援を行います。

・相互友好協力協定締結大学との連携

文化、教育、学術、スポーツなどの分野で援助、協力し相互発展を図ることを目的として協力協定を締結している7大学（市内4校、市外3校）と、引き続き連携の強化を図り、各大学の魅力を市民へ伝えるとともに、市民の生涯学習の推進にもつながるよう取組を進めます。

・公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団との連携及び文化施設の維持管理

文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場は、文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理・運営を行っていることから、それぞれの館の特徴を生かすとともに、3

館の連携による効果的な事業の推進を図ります。また、今年度は第三者評価の実施年であることから、これまでの振り返りを踏まえ、今後の更なるサービスの向上を図るため、今まで以上に市の施策との連動及び市との連携強化を図るとともに、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業展開などの視点から、指定管理者の指導監理に努めます。

グリーンホールの更新に向けては、公民連携手法による事業化に向けた検討や調布駅周辺の将来イメージの検討と連動しながら、施設利用団体や市民と情報共有・意見交換を行い、引き続き、ホール機能や規模、配置等の検討に取り組みます。

● 消費者行政について

近年、全国の消費生活センターに寄せられる相談内容は、相談者の年代を問わず、複雑で高度化し、多様化している傾向にあることから、調布市消費生活センターでは、市民の消費生活相談に適切に対応するため、専門相談員が被害解決に向けた助言、あっせん等を行います。

また、市民が安全で安心な消費生活を送ることができるよう、SNS等を活用した消費相談体制の充実の検討をはじめ、消費者被害の未然防止及び拡大防止に向けた効果的な情報発信を行います。併せて、成年年齢引き下げに伴う若年層への啓発に努めるとともに、消費者教育推進法に基づき、出前授業、消費者講座、イベント等において消費者教育を実施するなど、他部署との連携を図りながら、消費者の意識啓発を進めます。

協働推進課

● 地域コミュニティの活性化に向けた支援

地域のつながりや連帯感を持つことができるコミュニティの醸成を目指し、自治会連合協議会との連携により自治会に対する効果的な支援策について協働で取り組みます。

また、地域の自治会、市民、各種コミュニティ団体のネットワーク組織である地区協議会の運営支援を行うとともに、各地区の課題解決に向けた具体的な取組として、未設立地区も含めた地区協議会間の連携強化に向けた体制づくりを推進します。

● 地域コミュニティ活動の場づくり

地域福祉センター及びふれあいの家の維持管理と計画的な改修工事を行うとともに、地域福祉センターにおけるWi-Fi環境整備及び予約システム導入に向けた取組を推進します。

また、ふじみ交流プラザを開設し、地域交流や地域の賑わい創出に資するコミュニティ機能のほか、高齢者の社会参加と生きがいがづくり、心身の健康を促す機能を有する施設として地域交流の促進を図ります。

引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策と併せて、コミュニティ活動が活発になるよう適切な施設運営に取り組みます。

● 地域コミュニティ活動への参加の促進

市民活動支援センターについては、調布市社会福祉協議会と協働して、市民活動、地域活動を行うための拠点としての運営に取り組みます。

まち活フェスタ、えんがわフェスタ等のイベント開催については、イベントが地域活動や市民活動を担う新たな人材の発掘と交流の場となり、地域の活性化につながるよう、市民参加・協働により実施します。

また、地域コミュニティサイト「ちょみっと」や地域活動情報紙「じよいなす」などを活用し、一人でも多くの方がコミュニティ活動に関心を持ち、気軽に活動に参加できるよう情報提供に努めます。

● 参加と協働のまちづくりの実践

多様化する市民ニーズに対応するため、市民参加の担い手となる地域人材育成講座をはじめ、市民参加推進研修等の職員研修を実施し、職員の参加と協働に対する意識の定着と実践的な能力の向上を図ります。

コミュニティ施設の在り方検討では、施設における運営上の課題を整理するとともに、ふれ

あいの家運営委員会の負担軽減のための具体的な支援策を取りまとめるほか、今後におけるコミュニティ運営の在り方や方向性並びに一層の利活用の促進について検討します。

男女共同参画推進課

• 男女共同参画推進プラン（第5次）に基づく取組の推進

男女共同参画を取り巻く社会環境の変化等を踏まえ策定した男女共同参画推進プラン（第5次）に基づき、人権と多様性の尊重、配偶者等からの暴力の根絶、あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進に向け、プランに位置付けた各取組の着実な推進を図ります。

• 配偶者暴力及びデートDVの防止及び被害者支援

親密な関係にあるパートナーからの暴力を未然に防止するため、副市長を会長とする調布市配偶者暴力防止等対策ネットワーク会議において調布警察署、東京三弁護士会多摩支部、東京都女性相談センター多摩支所等の関係機関との連携を図るとともに、児童虐待防止のキャンペーンと共同して啓発事業を実施するなど、あらゆる暴力の根絶に向け、組織横断的に取組を推進します。

また、市立中学校の生徒を対象として、デートDV防止についての出前講座を実施します。

• 女性のための相談事業の実施

相談事業において、生き方、働く女性の人生、法律、健康、仕事についての来所相談及び電話相談を引き続き実施します。また、参加者が共通のテーマで話すことで悩みを解決する糸口を見つけるグループ相談（ほっとサロン・しえいくはんず）を実施します。

• 啓発事業の実施と情報の発信

コロナ禍だからこそ、支え支えられともに生きることを意識し、女性も男性も周囲とつながることができる社会の構築をテーマに、市民で組織する実行委員会と共催で男女共同参画推進フォーラムを実施し、市民交流を推進します。

また、人生100年時代の到来や、コロナ禍で顕在化した生活不安・ストレスなどに起因する配偶者等からのDVの深刻化が懸念される状況を踏まえ、男女共同参画に向けた様々な講座・展示等により啓発を行うとともに、社会状況を捉えたテーマの講座、講演会等をそれぞれの対象に合わせた開催時間、場所、保育などに配慮して実施します。

• 女性活躍推進法への対応

女性の職業生活における活躍の推進に関する取組が効果的かつ円滑に実施されるよう、女性活躍推進法に基づく協議会である男女共同参画推進センター運営委員会における協議を踏まえ、男女共同参画推進プラン（第5次）に位置付けた女性の活躍推進に関する事業の推進を図ります。併せて、引き続き、庁内における審議会・委員会の女性参画率の向上に取り組みます。

• 多様性社会の実現

男女共同参画推進プラン（第5次）に基づき、多様な性における人権の尊重と理解促進を図って参ります。

また、人権を取り巻く課題整理や体制整備を図り、同性パートナーシップ制度の導入に取り組みます。

• 施設管理

開館から17年が経過した市民プラザあくろすの施設老朽化に迅速に対応するため、換気設備の更新工事を実施するなど、指定管理者と協力して安全・安心の施設運営に努めます。

また、施設を活用した指定管理者による自主事業の実施促進を図るほか、活動団体による作品の展示、季節にちなんだ装飾等により、市民に親しまれる施設運営を指定管理者とともに推進します。

さらに、令和4年度は、現在の指定管理期間の最終年度に当たることから、令和5年度以降の次期指定管理者選定に向け、プロポーザルにより指定管理者候補者を選定します。

産業振興課

・新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の維持・再活性化（事業者支援）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業・小規模事業者を対象とする相談窓口や、調布市中小企業事業資金融資あっせん制度の拡充を継続し、信用保証料の全額補助及び全額利子補給（当初3年間）を行うとともに、国のセーフティネット保証制度への適切な誘導など、中小企業・小規模事業者を支援します。

また、引き続き、市内中小企業等が実施する新型コロナウイルスの感染予防に係る工事や備品購入等の費用に対する補助事業に取り組む調布市商工会を支援します。

社会経済活動の維持・再活性化に向けて、引き続き、市内事業所の経営状況の把握に努めるとともに、地域経済対策会議での議論も踏まえながら、市の実情に即した適時適切な対応を図ります。

・商業活性化に向けた商工会や商店会への支援

商工会が実施する市内産業の振興に資する市内事業者・商店会への支援事業や、市内消費喚起事業等を支援し、商業活性化に向けて連携して取り組みます。

また、商店会等が実施するイベント事業を支援し、にぎわいの創出や個店の魅力向上につなげるほか、商店街の施設整備や街路灯に係る電気料金に対する補助により、商店街の老朽化対策や商店会活動費用の負担軽減を図ることで、商店街の存続につなげ、商店会等と連携した商業の活性化を図ります。

・（仮称）商業振興・活性化プランの策定

市内事業者の新型コロナウイルス感染症の影響や新しい生活様式を踏まえ、地域経済活性化に向けた取組の指針となる（仮称）商業振興・活性化プランの策定に向けて、多様な主体と連携して取り組みます。

・映画のまち調布花火の開催

市内外から来場される多くの方の健康と安全を第一に考え、新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じたうえで開催方法を多角的に研究・検討し、他自治体の動向も注視しながら、開催に向けて取り組みます。

・「映画のまち調布」の推進

イオンシネマ シアタス調布を含む映画・映像関連企業や団体と連携しながら、「映画のまち調布 シネマフェスティバル」をはじめとする映画関連事業を実施し、「映画のまち調布」の推進につながる施策の更なる充実を図ります。

また、ロケツーリズムの推進については、フィルムコミッション事業の積極的な実施により、ロケ実績につなげるとともに、東京都市長会の助成金を活用した狛江市・日の出町との連携によるロケ地マップの作成や効果的な情報発信に取り組むほか、観光協会と連携した市独自のロケ地マップを作成します。

加えて、令和4年度は、東京都市長会の助成金の最終年度となるため、今後の他自治体との連携について、方策を検討します。

・水木しげる氏生誕100周年記念プロジェクト（「水木マンガの生まれた街 調布」の推進）

名誉市民・水木しげる氏の生誕100周年（令和4年）を記念した様々な取組について、水木プロダクションをはじめとする関連企業等と連携して展開し、作品や著作などの御功績を後世に伝えつつ、まちづくりにも生かす取組を大きく推進します。

また、観光振興や平和祈念をはじめとする関連施策を有機的に連動させ、水木氏の作品や著作に触れる機会の創出に注力することで、従来からのファンはもとより、本プロジェクトを契機として、子どもから大人まで幅広い世代に興味を持っていただき、「水木マンガの生まれた街 調布」の更なる推進につなげていきます。

・雇用・就労の支援

個々のライフステージに応じた切れ目ない雇用・就労を支援するため、調布国領しごと情報広場において、ハローワーク府中と連携した様々な求人情報の提供や職業相談、職業紹介、就労支援セミナーを実施するほか、地域活性化包括連携協定の活用や若者、高齢者、女性及び障害者の関係機関・関係部署と連携を図ります。

また、「ちょうふ若者サポートステーション」においても、関係機関・関連部署と連携を図り、仕事に対する不安や悩みを抱えている若者の職業的自立・就労を支援します。

令和3年度事業所経営実態調査の結果では、市内事業者が考える今後の経営上の課題について、「人材の確保」が挙げられていることから、他自治体の事例を参考にし、効果的な施策を検討します。

・市内事業所への経営支援・新たな創業への支援

市内の中小企業・小規模事業者の振興と地域経済の活性化を図るため、地域金融機関などの民間ノウハウを積極的に活用した経営相談や各種セミナーの開催、販路拡大のための見本市等の出展、事業承継について、商工会及び関係機関と連携して支援します。

また、中小企業事業資金融資あっせんについては、東京都と連携し、小口零細企業保証制度の対象者に対する信用保証料の全額補助を継続し、中小事業者の負担軽減を図ります。

市内での新たな創業を促進し、地域経済の活性化につなげるため、産業労働支援センターでは、専門の相談員による創業相談や創業セミナー・講演会、女性及びシニア向けの創業相談会、スモールオフィスの貸出し、空き店舗等を活用した創業チャレンジ支援事業などを実施します。

また、地域資源を生かしながら、地域課題の解決を目指すコミュニティビジネスの育成・支援について、関係機関と連携して取り組みます。

農政課

・農業経営の支援

認定農業者などの農業経営に意欲ある農業者が農業を継続できるよう、引き続き、都市農業育成対策事業による支援に加え、都市農地保全支援プロジェクトによる農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援します。

・環境に配慮した農産物の生産促進

有機質栽培や環境に配慮した農産物の生産を推進するため、有機質肥料の支給による環境に配慮した農産物の生産促進などを通じて、農業者の取組を支援します。

・市内農産物の直売の促進

より多くの市民が市内で生産された安全・安心で新鮮な農産物を手に入れやすくするとともに、市内における消費の拡大を図るため、市内農業者等と連携したマルシェの開催等、J A マインズ・市内事業者をはじめとする関係機関等と連携し、市内農産物の直売をより一層促進します。

・多様な農業体験の場づくり

市民が農家の指導を受けながら農作業を楽しむことができる農業体験ファームの支援や、農作業を通じて自然に親しみながら生産の喜びを味わうことができる市民農園の確保など、市民が農業と触れ合える機会づくりを推進します。

・都市農業を生かした食育の推進

農作物の生産から収穫までの過程や、農業の大切さを体感してもらう学童農園やふれあい体験農園の実施、調布産農産物を取り入れた学校給食や消費者と生産者の交流を通じた食育の推進など、都市農業を生かした食育を推進します。

・都市農地保全支援プロジェクトの推進

都市農地保全を推進するために、防災や環境保全など農地の多面的機能を一層発揮させるた

めの施設整備など、農地保全に意欲的に取り組む農業者及び農業団体が行う農地保全の取組に対して、ソフト・ハード両面から支援します。

● 都市農地の保全と多面的活用

都市農地を保全していくため生産緑地地区の追加指定と併せて、特定生産緑地の指定に向けた取組を進めるとともに、農業経営の支援や市民農園・農業体験ファーム等に取り組むことにより、都市農地の保全・活用に努めます。

● 農業振興計画の推進

令和2年度からスタートした農業振興計画について、多様な主体と連携しながら、都市農業の一層の推進と都市農地の保全・活用にに向けた各取組を計画的に推進します。

スポーツ振興課

● スポーツ施設の整備

市民が安全・安心に施設を利用できるよう、バリアフリーに配慮し、利用者の声を生かした計画的なスポーツ施設の改修や維持保全を図ります。また、基地跡地運動広場や大町スポーツ施設等の改修工事等を実施し、利用環境の向上を図ります。

総合体育館は、公益社団法人調布市体育協会の指定管理期間第4期の4年目となります。指定管理期間が10年となり、今年度は第三者評価の実施年であることから、これまでの振り返りを踏まえ、今後の更なるサービスの向上を図るため、今まで以上に市の施策との連動及び市との連携強化を図り、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業実施について指定管理者の指導監理に努めます。

● スポーツ推進計画の策定

東京2020大会等のレガシーの継承・発展を含め、市を取り巻く環境の変化などスポーツの推進に関わる現状と課題を把握し、市のスポーツ振興に関する基本的な考え方を示していくため、調布市スポーツ推進計画の策定に取り組みます。

● だれもがスポーツに参加できる機会の充実

より多くの市民が日頃からスポーツに触れ合う機会を提供できるよう、様々な主体と連携し、世代や能力に応じたスポーツを始めるためのきっかけづくりや、スポーツをする・みる・ささえるという観点から、スポーツ・レクリエーションに参加できる機会の充実を目指します。

● 東京2020大会を契機とした障害者スポーツの振興

東京2020大会、とりわけパラリンピックを契機とした障害者スポーツの振興を図ります。

公益社団法人調布市体育協会、NPO法人調和SHC倶楽部、調布市スポーツ推進委員会及び公益社団法人東京都障害者スポーツ協会や東京都のほか、相互協力協定を締結した一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟やNPO法人日本ブラインドサッカー協会などの競技団体と連携し、障害のある・なしにかかわらず、子どもから高齢者までだれもがスポーツに親しめる機会の創出や環境づくりに取り組みます。

また、福祉分野と連携した「調布市障害者スポーツの振興における協議体」を活用し、共生社会の実現に向けた課題解決や情報の提供・共有を行うとともに、障害者スポーツの振興における課題解決に向けた各種取組を推進します。

● FC東京等との連携の推進

市民のスポーツに親しむ機会の創出、青少年の健全育成、福祉や地域振興等のまちづくりを協働で推進するため、FC東京とのパートナーシップに基づく連携事業を様々な分野で一層の充実が図られるよう取り組みます。そのため、FC東京と庁内関係部署との情報交換会の定期的な開催や、庁内プロジェクト・チームの更なる活用を図ります。

また、令和3年4月に連携協定を締結した東芝ブレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアスと連携した事業や、NTT東日本バドミントン部との共催事業などの実施による地域

のスポーツ振興，そのほか各種スポーツ団体やプロスポーツチーム等とも連携・協力して，スポーツに親しむ機会の創出や交流の促進を図ります。

◆主要な事務事業と到達目標

| 事業の名称と概要 | 年度末到達目標 |
|---|--|
| <p>1 芸術・文化の振興（文化生涯学習課）</p> <p>事業予算：18億8077万9000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>市民が芸術・文化と触れる機会の提供と自ら芸術・文化活動を行える環境を整備するため、音楽や演劇など様々な事業を実施します。</p> <p>安全に施設を利用していただくため、文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場の維持保全のための施設整備を行います。</p> <p>それぞれの館の特徴を生かした事業への取組と3館の連携による効果的な事業の推進を図るとともに、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業展開を図ります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・施設維持保全工事等を計画的に実施します。 ・グリーンホールについて、施設利用団体や市民と情報共有・意見交換を行い、引き続き、ホール機能や規模、配置等の検討に取り組みます。 ・パラアート展をはじめ、障害の有無や年齢にかかわらず、芸術・文化に触れることのできる機会を創出します。 |
| <p>2 平和・国際交流施策の推進（文化生涯学習課）</p> <p>事業予算：3587万5000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>市民の代表ピースメッセンジャーとして中学生を長崎へ派遣し、その学びを広く市民へ伝えるとともに、市民団体等との連携により、市民に戦争の悲惨さや平和の尊さについて考える機会を提供します。また、水木作品を活用した「水木しげる平和祈念展（仮）」による平和教育の推進を図ります。</p> <p>国際交流の促進においては、世界の様々な文化や人々との相互の認識と理解を深め、共に暮らしていける地域社会づくりを促進するため、国際交流協会との連携の下、外国人専門家相談会をはじめとする外国人支援事業及び各種国際交流事業を実施するほか、サウジアラビア王国との交流20周年の節目として、「サウジアラビア文化展」の開催など更なる交流の促進を図ります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市民団体や市内の映像制作事業者等と連携し、幅広く市民が平和について考える機会を提供します。 ・「水木しげる平和祈念展（仮）」を開催し平和教育を推進します。 ・国際交流協会と連携し、外国人専門家相談会を実施するほか、外国語版生活ガイドブックを作成します。 |
| <p>3 消費生活の安定と向上（文化生涯学習課）</p> <p>事業予算：1482万6000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>市民が安心して消費生活がおくれるよう、引き続き、消費者トラブルの情報提供や、消費生活相談員による消費者トラブルの解決の支援を行います。</p> <p>複雑かつ多様化する消費者被害を防ぐためには、消費者への啓発が重要であることから、様々な媒体を利用して消費生活センターのPRを図るとともに、架空請求や振り込め詐欺などの悪質商法等に対して、タイムリーな情報提供と注意喚起を行い、消費者被害の防止につなげます。</p> <p>また、令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、若年層への消費者教育や啓発をより一層推進していく必要があることから、若者へ情報が届きやすい媒体の検討に取り組むほか、各種消費者講座の開催をはじめ、教育機関や地域で開催する会合等に出向く出前講座・出前授業の実施など、積極的な情報発信を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・着ぐるみの調布市消費者啓発用キャラクター「チー坊」を活用し、消費者トラブルの注意喚起を行います。 ・各年代に応じた消費生活教育教材と資料等を作成し、対象者へ提供します。 ・消費生活相談員によるアウトリーチ事業（出前講座、出前授業）を積極的に実施します。 |

| | |
|--|--|
| <p>4 学習活動及びまちづくりへの参加の促進（文化生涯学習課）</p> <p>事業予算：40万円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>市民一人一人の知識や経験を生かし、地域で活躍してもらえよう、市民団体や大学、民間事業者等との連携により、各種地域デビュー事業やサークル体験事業のほか、様々な生涯学習講座を実施し、各種活動への参加のきっかけづくりを行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域デビュー事業の更なる内容の充実及びサークル活動支援との更なる連携を図ります。 |
| <p>5 地区協議会の設立と支援（協働推進課）</p> <p>事業予算：937万1000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>地区協議会は、地域コミュニティの活性化を図り、地域の連帯感を高めるとともに、地域住民と調布市が地域の課題を共に考え解決していくために、地域住民が自主的に運営するネットワーク組織です。小学校区域をコミュニティエリアとして、令和3年度末で17の地区協議会が設立され、様々なまちづくり活動を展開しています。</p> <p>引き続き、未設立の3つの小学校区域に対して地区協議会の設立に向けた機運醸成に努めるとともに、既設地区への支援を行います。</p> <p>その他、全市的な緊急時の情報共有体制構築を目指す取組を推進します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・未設立3地区（第二、深大寺、柏野）に対して地区協議会設立の機運が高まるよう更なる関係性の強化を図ります。 ・既設地区協議会に対して、地域課題解決に向けたサポートを行うほか、未設立地区を含めた地域間の緊急時における情報共有体制の構築を目指します。 |
| <p>6 ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）の活用（協働推進課）</p> <p>事業予算：944万4000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）は、「生涯学習情報 さがす見つけるシステム」を多様化する市民活動やライフスタイルに合わせ、より分かりやすく、より直感的に、そしてより多くの方に活用していただけるよう平成28年度に再構築し、平成29年4月に公開しました。また、令和3年度は、自治会や地域の防災訓練の特集記事、地区協コラム作成、地域活動情報紙「じょいなす」との連携などにより、情報の充実を図るほか、更なる活用促進に向けてサイトをリニューアルしました。</p> <p>生涯学習情報コーナーウェブサイト、市民活動支援センターホームページなど、点在していたイベント情報や団体情報を一括で検索するポータルサイトであり、より分かりやすい地域密着型の情報発信及び情報共有の中心的なサイトを目指し、運用しています。</p> <p>イベントや団体紹介のほか、電子掲示板機能である「ちいきのけいじばん」は20小学校区ごとに設置し、チラシ等を簡単に投稿できる仕組みとなっています。</p> <p>ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）の内容充実と活用促進を図るため、引き続き、機能の見直し、追加やサイトのPR、広報、地域情報発掘によるコンテンツ充実などに取り組みます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・システム運営会議や連携会議を継続的に開催し、情報の共有・課題解決など検討を重ねていきます。 ・連携するホームページは7団体（令和4年4月1日時点） <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習情報コーナー 市民活動支援センター 男女共同参画推進センター 福祉人材育成センター 文化協会 観光協会 文化・コミュニティ振興財団 ・令和3年度にリニューアルした、ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）について、活動情報等のコンテンツの更なる充実を図ります。 |

| | |
|--|--|
| <p>7 地域福祉センターの整備（協働推進課）</p> <p>事業予算：7221万4000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>染地地域福祉センターでは、老朽化対策として、屋上防水・外壁・給排水等の大規模な改修工事を実施するほか、トイレの洋式化など機能向上を図ります。</p> <p>また、深大寺地域福祉センターにおけるエレベーター設置に向けた調査を実施するなど、施設の機能改善に取り組みます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全・快適性を第一に考えた改修工事を滞りなく実施し、施設機能の回復・向上を図ります。 ・地域福祉センターのトイレの洋式化は染地の改修にて全館完了します。 |
| <p>8 ふじみ交流プラザの開設・運営（コミュニティ事業）</p> <p>事業予算：3546万4000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>クリーンセンター跡地にオープンする複合商業施設「BRANCH（ブランチ）調布」内に設置する「ふじみ交流プラザ」を開設します。地域交流の促進に資する機能として、集会室の貸出を行うほか、地域の情報発信コーナーを設置します。また、新施設であることから、利用状況等の把握に努め、利便性の向上・施設の安定した運用に取り組みます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新施設の運用初年度にあたり、施設の利用状況や利用者のニーズ等を把握し安定した施設運営に努めます。 |
| <p>9 女性のための相談事業（男女共同参画推進課）</p> <p>事業予算：510万6000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>相談事業において、生き方、働く女性の人生、法律、健康、仕事についての一時保育付の来所相談及び電話相談事業を引き続き実施します。</p> <p>また、参加者が共通のテーマで話すことで悩みを解決する糸口を見つけるグループ相談（ほっとサロン・しゃいくはんず）を実施します。</p> <p>さらに、相談事業とリンクした講座を開催するなど、利用者ニーズに沿った事業を展開します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・来所相談・電話相談の実施 ・グループ相談の実施 ・相談事業と連携した講座等の実施 |
| <p>10 あくろす空調換気設備更新工事（男女共同参画推進課）</p> <p>事業予算：1926万1000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響がある中、市民が安全で快適にあくろすを利用できるよう、換気設備の更新工事に取り組みます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した空調換気扇30台の更新 |
| <p>11 商店街活性化の推進（産業振興課）</p> <p>事業予算：3794万9000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>商工会、市内事業者、商店会等と連携した社会経済活動の維持・再活性化に資する取組を展開します。</p> <p>商店会のイベント事業を支援することで、商店会や個店の魅力向上を図り、にぎわいの創出につなげます。</p> <p>また、商店街の施設整備を支援するため、街路灯のLED化や老朽化した街路灯の維持・撤去費用等の一部を助成するほか、街路灯に係る電気料金の負担軽減を行います。</p> <p>加えて、市内事業者の新型コロナウイルス感染症の影響や新しい生活様式を踏まえ、地域経済活性化の取組の指針となる（仮称）商業振興・活性化プランの策定に向けて、多様な主体と連携して取り組みます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・社会経済活動の維持・再活性化に向け、商工会、市内事業者、商店会等と連携した取組を推進します。 ・商店会が実施するイベント事業を支援し、にぎわいの創出につなげます。 ・商店街の街路灯のLED化の支援や電気料金の負担軽減を実施し、商店街の環境整備を促進します。 ・（仮称）商業振興・活性化プランの策定に向けて、多様な主体と連携して取り組みます。 |

| | |
|---|---|
| <p>12 商工会事業の支援（産業振興課）</p> <p>事業予算：6350万円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>市内産業の振興に資する市内事業者・商店会への支援事業、市内消費喚起事業、ものづくり製品化等事業、マル経融資利子補給（商工会事業資金融資）、受動喫煙対策事業のほか、商工まつりや商業・工業・建設業・サービス業の部会活動など、商工会の取組を支援します。</p> <p>また、新たに、市内飲食店応援事業や市内建設業受注拡大PRについても支援します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・商工会活動を支援し、社会経済活動の維持・再活性化に向けて、商工会と連携して取り組みます。 |
| <p>13 中小企業・小規模事業者の支援（産業振興課）</p> <p>事業予算：1億1228万9000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>社会経済活動の維持・再活性化を図るため、中小企業事業資金融資あっせん制度を利用する市内の中小企業・小規模事業者や開業しようとする方に対して、事業者負担（信用保証料及び利子）を軽減します（令和2年度からの拡充内容を継続）。さらに、事業者が抱える課題解決に向け、包括協定を結んでいる金融機関と連携し、きめ細かな支援に取り組みます。</p> <p>また、事業者への経営サポートとして、事業所訪問のほか、創業支援や経営課題に関するセミナー等を開催し、支援します。</p> <p>加えて、引き続き、市内中小企業等が実施する新型コロナウイルスの感染予防に係る工事や備品購入等の費用に対する補助事業に取り組む商工会を支援することで、新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の維持・再活性化の両立を図ります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、少しでも多くの事業者の事業継続が可能となるよう支援し、新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の維持・再活性化を目指します。 |
| <p>14 産業労働支援センターによる創業の支援（産業振興課）</p> <p>事業予算：967万9000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>経営アドバイザーによる創業・経営などの相談事業、各種セミナーや講演会の開催、スモールオフィスの貸出し、空き店舗等を活用した創業チャレンジ支援事業など、調布市内での創業者の育成を図ります。</p> <p>また、訪問や電話によるきめ細かな経営アドバイスを行うことで、中小企業・小規模事業者の経営を支援します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 550件 ・センター利用者による創業件数 30件 |
| <p>15 調布市観光協会事業の促進（産業振興課）</p> <p>事業予算：1761万7000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>ホームページ、フェイスブック、ツイッター等を活用した調布のまちの魅力発信とともに、「水木マンガの生まれた街 調布」や「映画のまち調布」の推進、古刹・深大寺を核とする観光事業、観光ボランティアガイドの支援など、にぎわいの創出につながる調布ならではの特色あるイベント展開等を支援します。</p> <p>また、多言語版の調布市観光マップ等の改訂や調布駅周辺を中心とした飲食店等への公衆無線LAN整備の実施により、外国人旅行者等に調布の魅力・情報をより広く発信する取組を支援します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会と連携し、にぎわいの創出に向けた効果的な観光振興を推進することにより、社会経済活動の維持・再活性化を図ります。 |

| | |
|---|---|
| <p>16 水木しげる氏生誕100周年記念プロジェクト（「水木マンガの生まれた街 調布」の推進）（産業振興課）</p> <p>事業予算：1329万3000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>名誉市民・水木しげる氏の生誕100周年（令和4年）を記念した様々な取組について、水木プロダクションをはじめとする関連企業等と連携して展開し、作品や著作などの御功績を後世に伝えつつ、まちづくりにも生かす取組を大きく推進します。</p> <p>また、観光振興や平和祈念をはじめとする関連施策を有機的に連動させ、水木氏の作品や著作に触れる機会の創出に注力することで、従来からのファンはもとより、本プロジェクトを契機として、子どもから大人まで幅広い世代に興味を持っていただき、「水木マンガの生まれた街 調布」の更なる推進につなげていきます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、観光協会と連携して「ゲゲゲ忌」を実施するとともに、水木しげる氏の生誕100周年を記念した様々な取組を庁内横断的に展開し、「水木マンガの生まれた街 調布」の更なる推進につなげていきます。 水木プロダクションが実施する「水木しげる生誕100周年プロジェクト」（期間：令和3年3月6日から令和6年3月7日）の取組と連携して、事業展開を図ります。 |
| <p>17 「映画のまち調布」の推進（産業振興課）</p> <p>事業予算：1387万2000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>映画・映像を「つくる」、「楽しむ」、「学ぶ」をテーマに、積極的なロケ支援や市民・団体等が実施する映画イベントの支援・協力、「高校生フィルムコンテスト」等の世代に合わせた調布市独自の事業を実施します。</p> <p>また、イオンシネマ シアタス調布のプレアド（映画上映前の広告）を活用したPR、「映画のまち調布」応援キャラクター「ガチョラ」の活用、「映画のまち調布 シネマフェスティバル」における撮影体験ワークショップなど、「映画のまち調布」ならではの取組を展開します。</p> <p>ロケツーリズムの推進については、フィルムコミッション事業の積極的な実施により、ロケ実績につなげるとともに、東京都市長会の助成金を活用した狛江市・日の出町との連携によるロケ地マップの作成や効果的な情報発信に取り組むほか、観光協会と連携した市独自のロケ地マップを作成します。</p> <p>加えて、令和4年度は、東京都市長会の助成金の最終年度となるため、今後の他自治体との連携について、方策を検討します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 広く市民に“映画”に親んでもらう機会を創出するとともに、映画・映像関連企業と連携した様々な取組により、「映画のまち調布」としての魅力の更なる向上を目指します。 |
| <p>18 いきいきとした農業経営（農政課）</p> <p>事業予算：1410万円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>認定農業者などの農業経営に意欲ある農業者が農業を継続できるよう、引き続き、都市農業育成対策事業による支援に加え、都市農地保全支援プロジェクトによる農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援します。</p> <p>市民ニーズの高い安全・安心な農産物の品質向上と供給を図るため、有機質肥料の支給による環境に配慮した農産物の生産促進などを通じて、農業者の取組を支援します。</p> <p>また、援農ボランティアの斡旋事業について、検討を進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度からスタートした農業振興計画の円滑な推進に努めます。 「都市農地保全支援プロジェクト」を活用し、農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援します。 「都市農業育成対策事業」を活用した農業支援を実施します。 有機質肥料を支給し、環境に配慮した農産物の生産促進を図ります。 援農ボランティアの斡旋事業の検討を進めます。 |

| | |
|--|---|
| <p>19 農のある地域づくり（農政課）</p> <p>事業予算：1429万8000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>より多くの市民が市内で生産された新鮮で安全・安心な農産物を手に入りやすくするとともに、市内農業者等と連携した農業マルシェの開催等を通じ、市内における消費の拡大を図るほか、JAマインズ・地元商店街をはじめとする関係機関と連携し市内農産物の直売をより一層推進します。</p> <p>また、市民が農家の指導を受けながら農作業を楽しむことができる体験ファームの支援や、農作業を通じて自然に親しみながら生産の喜びを味わうことができる市民農園の新規開設など、市民が農業に触れ合える機会づくりを推進します。</p> <p>さらに、農作物の生産から収穫までの過程や、農業の大切さを体感してもらう学童農園について、布田小学校・多摩川小学校・上ノ原小学校地域にて継続して実施するとともに、新たに第三小学校地域にて学童農園の新規開設に取り組むほか、ふれあい体験農園の実施、市内農産物を取り入れた学校給食や消費者と生産者の交流を通じた食育の推進など、都市農業を生かした食育を推進します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・農業体験ファームの確保に努めるとともに、市民農園を新規開設します。 ・関係機関と連携し、市内農産物の直売を促進します。 ・都市農業を生かした食育を推進します。 ・市民ふれあい体験農園や学童農園を実施し、都市農業への理解促進を図ります。 ・第三小学校地域において、新たに学童農園を開設します。 ・市内農業者等と連携した農業マルシェを開催します。 |
| <p>20 農地の保全・活用（農政課）</p> <p>事業予算：1552万3000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>都市農地保全を推進するために、防災や環境保全など農地の多面的機能を一層発揮させるための施設整備など、農地保全に意欲的に取り組む農業者及び農業団体の取組に対して、ソフト・ハード両面から支援します。</p> <p>また、都市農地を保全していくため、JAマインズと連携し、都市農地の貸借の円滑化に関する法律の活用を促進するほか、生産緑地地区の追加指定と併せて、特定生産緑地の指定に向けた取組を進めるとともに、農業経営の支援や市民農園・農業体験ファーム等に取り組むことにより、都市農地の保全・活用に努めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・特定生産緑地の指定に向けた取組を進めます。 ・「都市農地保全支援プロジェクト」を活用し、農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援します。 |
| <p>21 スポーツ施設の整備（スポーツ振興課）</p> <p>事業予算：1億1879万1000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>市内の各スポーツ施設において、市民が安全で快適に利用できるよう、スポーツ施設の維持保全に取り組むとともに、基地跡地運動広場や大町スポーツ施設等の改修工事等を実施し、利用環境の向上を図ります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館整備費（劣化度調査業務委託等） ・西調布体育館等設計委託費（中央道橋りょう耐震化に伴う対応） ・基地跡地運動広場整備費（グラウンド改修工事等） ・大町スポーツ施設整備費（大運動場改修工事等） ・施設の老朽化に伴う修繕等 |
| <p>22 スポーツ推進計画の策定（スポーツ振興課）</p> <p>事業予算：220万円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>東京2020大会等のレガシーの継承・発展を含め、市を取り巻く環境の変化などスポーツの推進に関わる現状と課題を把握し、市のスポーツ振興に関する基本的な考え方を示していくため、調布</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進計画の策定に向け、市のスポーツの推進に関わる現状と課題の把握に取り組みます。 |

| | |
|--|---|
| <p>市スポーツ推進計画の策定に取り組みます。</p> | |
| <p>23 東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出（スポーツ振興課）</p> <p>事業予算：1060万円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>東京2020大会等を契機として、文化や産業、福祉や教育など様々な分野における市内での横断的な取組のほか、関係団体や競技団体等と構築した連携体制を最大限に活用し、これまで推進してきたレガシーを見据えた事業の継承・発展を図ります。とりわけ、パラリンピックが市内で開催されたことを契機とした、障害者スポーツの振興に取り組みます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア陸上体験教室、障害者スポーツ体験会、ラグビー連携事業、応援アスリート事業、NTT東日本バドミントン部地域感謝祭等連携事業、サマーフェスティバル、サッカーW杯パブリックビューイング等の事業を、関係団体や競技団体と連携して実施します。 ・教育委員会と連携し、子ども達へのスポーツ振興事業を実施します。 ・東京都29市町村と連携したポッチャ大会、府中市・三鷹市と連携したラグビー事業等、他自治体と連携した地域のスポーツ振興に取り組みます。 ・調布市障害者スポーツの振興における協議体を活用し、誰もがスポーツに親しむ機会の創出を図ります。 |
| <p>24 FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進（スポーツ振興課）</p> <p>事業予算：200万円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>FC東京が行うサッカー教室等の地域貢献活動に対して経費の一部を補助するなどその活動を支援し、市のスポーツ振興、青少年の健全育成、福祉、地域振興等のまちづくりを協働で推進します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもサッカー体験教室等FC東京の地域貢献活動を支援します。 ・FC東京との連携事業の更なる発展・充実を図り、FC東京を応援することで市内のスポーツ機運を醸成します。 ・FC東京の株主であるホームタウン6市の連携を強化し、地域全体のスポーツ振興を図ります。 ・市内スポーツ団体との連携を図ります。 |

◆生活文化スポーツ部経営の前年度（令和3年度）振り返り

・東京2020大会に向けた取組

東京2020大会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、史上初の1年延期となり、また、緊急事態宣言が発出される中、多くの会場において無観客開催となるなど、これまでに経験のない困難な状況下での開催となりました。

市においても、大会に関連して計画した様々な取組は変更・縮小・中止を余儀なくされる状況もありましたが、日々状況が変更する中、最善の方法を模索しながら、大会の機運醸成やレガシー創出に向けて取組を進めてきました。

聖火リレーにおいては、東京都における公道走行中止の決定に伴い、計画していた出発式や到着イベントは中止となり、聖火リレーサポーターの活動の場所を確保することは叶いませんでしたが、オリンピック・パラリンピックそれぞれセレブレーション会場における点火セレモニー、パラリンピック聖火フェスティバルの採火、聖火ビジットを実施した他、パラリンピック聖火の都内到着式への参加など、都と連携・協力のうえ、可能な限りの対応を行いました。

大会期間中においても、計画していたコミュニティライブサイトは中止とし、代替として市内開催競技や応援アスリート、ホストタウンサウジアラビアを応援するためのオンラインイベントを開催した他、4名が出場した調布市応援アスリートを応援するための取組を行いました。

大会終了後には、大会開催決定からの市の取組をまとめた報告書や聖火リレー記録映像を作成したほか、飛田給スタジアム前歩道橋にレガシー銘板を設置し、総合体育館にはラグビーワールドカップ及びパラリンピックのマスコット像を設置しました。これらの取組を通じて、大会の感動と記憶を次代にレガシーとして継承していきます。

・芸術・文化の振興

市民が芸術・文化と触れる機会の提供と自ら芸術・文化活動を行える環境を整備するため、音楽や演劇など様々な事業を実施するとともに、安全に施設を利用していただくための施設整備を行いました。

文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場は、指定管理者である文化・コミュニティ振興財団による管理・運営を行っていることから、3館の連携による効果的な事業の推進を図るとともに、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業展開などの視点から、施設管理及び事業運営を行いました。文化会館たづくりにおいては、空調熱源の更新及びエレベーター等の改修について、省エネルギー効果を見込む設備更新型ESCO事業として実施することとし、設備改修を開始しました。

グリーンホールについては、ホール整備の先進事例の視察を行ったほか、施設整備に向け施設利用団体と情報共有を図りながら、整備手法、コストに関するシミュレーション等を踏まえた検討に取り組みました。

・平和祈念の取組

令和3年度は、コロナ禍の影響により、長崎への派遣そのものは適いませんでしたが、新たに9人の中学生をピースメッセンジャーとして任命し、市近隣の戦跡を巡るフィールドワークや青少年ピースフォーラムへのオンライン参加等を通じて学びを深め、その成果や平和への想いを各種平和祈念事業や市内公共施設での巡回展示等により広く市民に発信しました。

また、他自治体の子どもたちとのつながりも深いFC東京との連携を図り、多面的な影響力を生かした効果的な情報発信に御協力をいただきました。

・国際交流の推進

世界の様々な文化や人々との相互の認識と理解を深め、共に暮らしていける地域社会づくりを促進するため、国際交流協会との連携の下、外国人専門家相談会をはじめとする外国人支援事業及び各種国際交流事業を実施しました。

また、「やさしい日本語」活用推進のため、職員向け研修を国際交流協会との共催により実施しました。

● 地区協議会の設立と支援

既存地区協議会において、地区協議会連絡会等を通じて地域活動状況の共有を行うほか、令和元年台風第19号対応に関する意見を踏まえ、地域の情報共有が促進されるよう緊急時の情報共有体制の検討・整備を行いました。

未設立地区においては、地域防災勉強会等への参加の声かけにより情報提供や交流の機会を創出しました。

また、「柏野小地区 報告会」を開催し、緊急時の情報共有体制の検討・整備内容をお伝えするとともに、参加者による情報交換を行いました。

● ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）のリニューアル

「ちょうふ地域コミュニティサイト ちょみっと」は、地域情報発信の中心的な役割を担うサイトとして「さがす見つかるシステム」を再構築し、平成29年4月から稼働しています。

令和3年度は、自治会や地域の防災訓練の特集記事、地区協コラム作成、地域活動情報紙「じょいなす」との連携などにより、情報の充実を図るほか、更なる活用促進に向けてサイトをリニューアルしました。

● ふれあいの家の整備

ふれあいの家運営委員会の負担の軽減と利用者の利便性の向上のため、上ノ原ふれあいの家ほか2施設で、鍵の受け渡しを不要とする電子錠を導入しました。

また、施設の機能向上を目的とした改修工事を佐須ふれあいの家及び上ノ原ふれあいの家で実施したほか、布田駅南ふれあいの家ほか3施設で手すりの設置など、利用者が安心・安全に利用できるようバリアフリー化を行いました。

● 地域福祉センターの整備

公共建築物維持保全計画を基本として、バリアフリー化を含めた大規模改修工事を下石原地域福祉センター及び深大寺地域福祉センターで実施し、電気のLED化や内装改修、車いす用トイレの機能拡充等を行い、施設の機能向上を図りました。

● 女性のための相談事業

生き方、働く女性の人生、法律、健康、仕事についての来所相談及び電話相談事業を実施しました。

また、参加者が共通のテーマで話すことで悩みを解決する糸口を見つけるグループ相談（ほっとサロン・しゃいくはんず）を実施しました。

このほか、女性の支援事業として、関連部署と連携し、希望する女性に無償配布している生理用品への女性のための相談事業の案内の同封や、公共施設のトイレ等への相談事業の案内を記載したカードの配架など、相談事業の周知に努めました。

● 新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の回復の両立（事業者支援、消費喚起策）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業・小規模事業者を対象とする相談窓口や、調布市中小企業事業資金融資あっせん制度の拡充を継続し、信用保証料の全額補助及び全額利子補給（当初3年間）を行うとともに、国のセーフティネット保証制度への適切な誘導など、中小企業・小規模事業者を支援しました。

また、昨年度に引き続き、市内中小企業等が実施する新型コロナウイルスの感染予防に係る工事や備品購入等の費用に対する助成事業に取り組む商工会を支援し、市内事業者が事業を継続できる環境の整備につなげました。

新しい日常における市民生活の支援と地域経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券事業を2回実施し、市内消費喚起を促進しました。併せて、市内事業所のキャッシュレス決済の導入が十分に進んでいない現状も踏まえ、キャッシュレス決済の普及促進と市内消費喚起を目

的とするキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施しました。

地域経済対策会議での議論も踏まえながら、市の実情に即した適時適切な対応に努め、令和3年度事業所経営実態調査の実施により、令和4年度以降の事業者支援に向けて、市内の事業所の現状把握を行いました。

・商業活性化に向けた商店会支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、商店会が実施するイベント事業の中止が相次ぎました。こうした状況下において、実施可能なイベント事業を支援し、社会経済活動の維持・再活性化に努めたほか、商店街の施設整備や街路灯に係る電気料金に対する補助により、商店会活動費用の負担軽減を図ることで、商店街の維持に向けて取り組みました。

・映画のまち調布花火の開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、調布花火の通常開催を見送り、実施方法の創意工夫による開催（市民限定の有観客開催や無観客開催）を目指しましたが、感染収束の見通しが立たなかったため、中止にせざるを得ませんでした。しかし、コロナ禍の影響により、令和2年度から令和3年度までの間、木島平村との姉妹都市交流事業を実施することができない状況が続いていたことから、一日も早いコロナ禍の収束による姉妹都市交流事業の再開を祈念するとともに、コロナ禍の影響で減少した木島平村の観光客増加の一助とするため、調布市観光協会の主催（共催：調布市）で、木島平村を会場として、花火の打上げを実施しました。

・「映画のまち調布」の推進

新型コロナウイルス感染症の影響により、「映画のまち調布 シネマフェスティバル」をはじめとする映画関連事業の中止や一部中止が相次ぎましたが、イオンシネマ シアタス調布を含む映画・映像関連企業や団体と連携しながら、創意工夫による実施方法を模索し、実施可能な事業に取り組み、「映画のまち調布」の推進につながるよう努めました。

また、令和2年度に中止となった撮影体験ワークショップについて、製作したものの、使用されなかったセットや台本を活用し、調布市観光協会の主催（共催：調布市）で実施しました。

ロケツーリズムの推進については、市長会の補助金を活用した3市町でのフィルムコミッション事業の展開を継続するとともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、積極的なロケの受入れに取り組みました。

・「水木マンガの生まれた街 調布」の取組推進

新型コロナウイルス感染症対策をしたうえで、ゲゲゲ忌を開催し、調布駅前広場やイオンシネマ シアタス調布に多くの集客を生み、地域経済の活性化につなげることができました。

また、期間中のスタンプラリーも盛況で、回遊性の向上を図ることができました。こうした取組により、名誉市民・水木しげる氏の作品に多くの市民や来訪者が触れる機会を創出することができ、「水木マンガの生まれた街 調布」の推進につなげました。

・オリンピック・パラリンピック開催と連動した地域経済活性化

東京2020大会は、無観客での開催となりましたが、開催の機運醸成を図るため、オンライントークイベントを実施し、イベントの最後には、観光協会と連携して花火の打上げを行いました。

・いきいきとした農業経営

認定農業者と農業経営に意欲ある農業者に、農業用資材の購入、農業用機械設置等を補助する都市農業育成対策事業を通じて、農業が安定的に継続できるよう支援したほか、有機栽培の推進などの取組を支援しました。

・スポーツ施設の整備

市内の各スポーツ施設について、公共建築物維持保全計画を踏まえ市民が安全で快適に利用できるよう、バリアフリーに配慮し、利用者の声を生かした計画的なスポーツ施設の改修や維持保全を図りました。

また、総合体育館の特定天井及び床等改修工事を実施したほか、熱中症対策として、総合体育館及び大町スポーツ施設体育館の空調設備設置工事を実施し、利用環境の向上を図りました。

• 東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止せざるを得ない事業もある中で、感染症予防対策を講じた上で「市民スポーツまつり」や「小学生タグラグビー大会」、「障害者スポーツ体験会」や「ジュニア陸上体験教室」等の事業を実施しました。

また、東芝ブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアスとの連携協定事業として各チームの試合への市民の無料招待事業を実施したほか、NTT東日本バドミントン部連携事業として市内中学校バドミントン部へのリモート指導の実施など、新たな取組も行いました。

東京2020大会期間中では、多くの大会関連事業が変更・縮小・中止を余儀なくされる中、オンラインへの転換など柔軟な対応を図り、FC東京、東芝ブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアス、NTT東日本バドミントン部、日本車いすバスケットボール連盟などと連携した大会の盛り上げを通じたスポーツ振興を図りました。

障害福祉課や東京都、東京都障害者スポーツ協会と連携し、スポーツ分野と福祉分野の関係団体が一同に会し、障害者スポーツを振興する上での課題の抽出や解決方法を検討する場として設置した「調布市障害者スポーツの振興における協議体」では、東京都の負担金を活用した講習会を実施し、障害者スポーツの振興を図りました。

• FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進

市民がスポーツに親しむ機会を創出するため、「調布市FC東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクト・チーム」の活用や、FC東京と庁内関係部署との情報交換会を開催し、FC東京とのパートナーシップに基づく連携事業をスポーツ分野のみならず、青少年の健全育成、福祉地域振興等の様々な分野で実施したほか、東京2020大会の影響でアウェイ連戦を終えたFC東京がホーム味の素スタジアムでの試合の際には「おかえりトーキョー」企画をFC東京と連携して実施し、市内小学校や児童館をはじめ子ども達や多くの市民による応援動画を制作、市内各所や味の素スタジアムで配信されるなど、市全体での応援機運を盛り上げることによる市民スポーツの振興を図りました。

また、FC東京の株主であるホームタウン6市のリーダー役として、6市が連携したユニフォームデー等の応援企画の実施による、地域全体のスポーツ機運の醸成を図りました。また、障害福祉課や東京都、東京都障害者スポーツ協会と連携し、スポーツ分野と福祉分野の関係団体が一同に会し、障害者スポーツを振興するうえでの課題の抽出や解決方法を検討する場として設置した「調布市障害者スポーツの振興における協議体」では、東京都のモデル事業として、東京都からの負担金を活用した講演会や市内福祉作業所への出張事業などを実施し、障害者スポーツの振興を図りました。

◆前年度の主要な事務事業の取組状況等

| 事業の名称と取組内容 | 達成状況・課題等 |
|--|---|
| <p>1 東京2020大会に向けた取組（オリンピック・パラリンピック担当）</p> <p>決算見込額：6500万円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>コロナ禍で行われた東京2020大会について、市で予定していた取組も変更・縮小・中止を余儀なくされましたが、聖火リレー公道走行中止に伴う対応やコミュニティライブサイト中止に伴う代替のオンラインイベント開催、応援アスリート応援企画など、可能な限り市民に市内で開催される東京2020大会を楽しんでいただけるような取組を行いました。</p> <p>また、大会終了後は報告書や聖火リレー記録映像の作成、大会マスコット像の設置、レガシー銘板の設置など、大会の記憶を語り継ぐための取組を実施したほか、大会を契機に関係性を構築してきた競技団体等と連携し、「パラリンピックレガシー」として次代のまちづくりに継承し、共生社会の更なる充実を図るため、「スポーツ×共生社会」シンポジウムをオンライン開催しました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・聖火リレー公道走行中止に伴う対応 ・コミュニティライブサイト代替オンラインイベント ・応援アスリート応援企画 ・大会の記憶の継承 ・「スポーツ×共生社会」シンポジウムのオンライン開催 |
| <p>2 芸術・文化の振興（文化生涯学習課）</p> <p>決算見込額：14億3973万5315円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>市民が芸術・文化と触れる機会の提供と自ら芸術・文化活動を行える環境を整備するため、音楽や演劇など様々な事業を実施するとともに、安全に施設を利用していただくため施設整備を行いました。</p> <p>文化会館づくり、グリーンホール及びせんがわ劇場は、指定管理者である文化・コミュニティ振興財団による管理・運営を行っていることから、3館の連携による効果的な事業の推進、魅力ある事業展開を図りました。</p> <p>グリーンホールについては、ホール整備の先進事例の視察を行ったほか、施設整備に向け施設利用団体と情報共有を図りながら、整備手法、コストに関するシミュレーション等を踏まえた検討に取り組みました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・施設維持保全工事等を計画的に実施しました。 ・調布国際音楽祭、調布市民文化祭、映画のまち調布 シネマフェスティバル等において、オンライン配信を実施しました。 ・パラアート展をはじめ、障害の有無や年齢にかかわらず、芸術・文化に触れることのできる機会を創出しました。 |
| <p>3 平和・国際交流施策の推進（文化生涯学習課）</p> <p>決算見込額：2672万3000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>コロナ禍の影響により、長崎への派遣は見送りとしましたが、新たに9人の中学生をピースメッセンジャーとして任命し、市近隣の戦跡を巡るフィールドワークや青少年ピースフォーラムへのオンライン参加等を通じて学びを深め、その成果や平和への想いを各種平和祈念事業や市内公共施設での巡回展示等により広く市民に発信しました。</p> <p>また、国際交流協会との連携の下、外国人専門家相談会をはじめとする外国人支援事業及び各種国際交流事業を実施したほか、「やさしい日本語」活用推進のため、職員向け研修を国際交流協会との共催により実施しました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・原爆展／調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト2021作品展 来場者 350人 ・調布市平和映画・朗読会 来場者 104人 ・調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト 応募数 18作品 ・外国人専門家相談会相談者数 12人（7ヶ国） |

| | |
|--|--|
| <p>4 消費生活の安定と向上（文化生涯学習課）</p> <p>決算見込額：1304万6000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>市民が安心して消費生活がおくれるよう、調布市消費生活センター条例に基づき消費者トラブルの情報提供や、消費生活相談員を配置し消費者トラブルの解決に向けた支援をしました。</p> <p>また、成年年齢の引き下げに伴い、若年層への消費者教育や啓発を図るため、市内都立及び私立高校6校の3年生を対象に、若者に多い消費者トラブル事例を挙げた啓発用チラシを配布し、教職員用に出前講座の受講案内を行い、市内大学には、相互友好協力協定締結大学を通じ、啓発用チラシ配架依頼等の周知を図りました。</p> <p>さらに、消費者教育推進法に基づき、各年代に応じた各種消費者講座を実施しました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体等からの要望に合わせ、講座内容や実施形態について柔軟に対応し、消費者講座、出前講座を実施しました。 ・消費者講座 7回 受講者数計85人 ・出前講座 11回 参加者数計775人 |
| <p>5 学習活動及びまちづくりへの参加の促進（文化生涯学習課）</p> <p>決算見込額：40万円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>地域デビュー事業では、地域デビュー推進委員会と連携し、歓迎会、調布再発見学習会&徒歩ツアーのほか、サークルやボランティア活動のきっかけとなるようなイベントについて、感染防止対策を講じた上で開催することができました。</p> <p>また、地域デビュー推進委員と連携し、地域活動へ参加したい方へのサークル体験を通じたきっかけづくりの相談を行うとともに、サークルにとっては新規会員募集の場となる「サークル体験 in みんなの広場」を実施しました。</p> | <p>【参加者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域デビュー歓迎会 38人 ・調布再発見学習会&徒歩ツアー 50人 ・サークルデビューしませんか 40人 ・始めてみようボランティア 32人 ・サークル体験 in みんなの広場 23人 |
| <p>6 地区協議会の設立と支援（協働推進課）</p> <p>決算見込額：870万2000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>令和元年台風第19号の教訓を踏まえ、地区協議会代表者会議で緊急時の情報共有体制及び地区協議会相互の連携について検討を行いました。</p> <p>また、地域防災勉強会や市内小・中学校における避難所開設訓練実施の機会を捉え、未設立地区への参加の声かけを行うなど、地域間の交流機会を創出しました。</p> <p>未設立地区では「柏野小地区 報告会」を開催し、緊急時の情報共有体制の検討・整備内容をお伝えするとともに、参加者による情報交換を行いました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有体制に向けた地区協議会代表者名簿の作成 ・地区協議会連絡会 3回 ・地域防災勉強会 1回 ・未設立地区報告会 1回 |
| <p>7 ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）の活用（協働推進課）</p> <p>決算見込額：938万円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>サイトを協働で運営するNPO法人調布市地域情報化コンソーシアム及び共管する文化生涯学習課と月に1回のシステム運営会議を踏まえ、利便性の高いシステム構築に向けた検討を行いました。</p> <p>令和3年度は、自治会や地域の防災訓練の特集記事、地区協コラム作成、地域活動情報紙「じょいなす」との連携などにより、情報の充実を図るほか、更なる活用促進に向けてサイトをリニューアルしました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン更新（写真掲載充実等）、コンテンツ充実（自治会ページ作成等）、セキュリティ対応力強化 |

| | |
|---|--|
| <p>8 ふれあいの家の整備（協働推進課）</p> <p>決算見込額：1465万7000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>施設の機能回復を図るため、佐須ふれあいの家及び上ノ原ふれあいの家で空調更新工事（共に繰越明許費）を実施したほか、バリアフリーの観点から、玄関や廊下への手摺の設置を行うなど、適宜、修繕に取り組みました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全・快適性を第一に考えた修繕や、施設機能の向上を図りました。 |
| <p>9 地域福祉センターの整備（協働推進課）</p> <p>決算見込額：1億4916万円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>下石原地域福祉センター及び深大寺地域福祉センターにおいて、屋上防止・外壁・空調設備等の大規模改修工事を行い、施設改善を図りました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全・快適性を第一に考えた改修工事を滞りなく実施し、施設機能の回復・向上を図りました。 |
| <p>10 女性のための相談事業（男女共同参画推進課）</p> <p>決算見込額：510万6000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>相談事業において、生き方、働く女性の人生、法律、健康、仕事についての来所相談及び電話相談事業を引き続き実施しました。</p> <p>また、参加者が共通のテーマで話すことで悩みを解決する糸口を見つけるグループ相談事業を実施しました。</p> <p>このほか、公共施設等に相談カレンダーを配架し、相談事業の周知に努めました。</p> | <p>【個別相談件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きかた相談 411件（電話相談含む） ・法律相談 121件 ・働く女性の人生相談 29件 ・ヘルスケア相談 13件 ・仕事&生活サポート相談 38件 <p>【グループ相談（ほっとサロン・しえいくはんず）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 5回 ・累計参加者数 20人 |
| <p>11 次期男女共同参画推進プランの策定（男女共同参画推進課）</p> <p>決算見込額：239万8000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>令和2年度に実施した市民や市内事業所への意識調査を基礎資料として、男女共同参画を取り巻く社会環境の変化や調布市の取組状況等を踏まえた調布市男女共同参画推進プラン（第5次）を令和4年3月に策定しました。</p> | <p>【調布市男女共同参画推進プラン（第5次）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業数 58（再掲5含む） ・重点事業 17 ・指標 9（学校、家庭、地域を分けると11） <p>※市民意識調査で確認する指標項目：7件（他：審議会、管理職）</p> |
| <p>12 中小企業・小規模事業者の支援（産業振興課）</p> <p>決算見込額：1億6560万2170円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大により、経営に影響を受けた市内事業者を支援するため、令和2年度から拡充した融資あっせん制度を継続して実施しました。また、市内事業者を対象として、新型コロナウイルス感染症に係る経営相談窓口を継続して実施しました。</p> <p>さらに、市内中小企業等が実施する新型コロナウイルスの感染予防に係る工事や備品購入等の費用に対する助成事業（調布市商工会中小企業等新型コロナウイルス感染予防対策助成金）に取り組む調布市商工会を支援しました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所経営実態調査の実施や地域経済対策会議での議論を踏まえ、市の実情に応じた施策の展開に努めました。 |

| | |
|---|--|
| <p>13 商店街活性化の推進（産業振興課）</p> <p>決算見込額：1143万3000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>商店会支援については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、商店会が実施するイベント事業の中止（予定：19商店会27事業，実績：7商店会9事業）が相次ぎましたが，実施可能な事業を積極的に支援し，地域経済の回復に少しでもつながるよう取り組みました。</p> <p>また，商店会支援の一環として，商店街の街路灯に係る電気料金を補助することで，商店会の負担軽減を図りました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた地域経済の回復を目指し，商工会や商店会等と連携して施策に取り組みました。 |
| <p>14 キャッシュレス決済ポイント還元・プレミアム付商品券事業の実施（産業振興課）</p> <p>決算見込額：26億2068万1926円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>新しい日常における市民生活の支援と地域経済の活性化を図るとともに，キャッシュレス決済の普及促進に向けて，キャッシュレス決済によるポイント還元事業を実施しました。なお，キャッシュレス決済の活用が困難な方もいることから，プレミアム付商品券事業も併せて実施しました。</p> <p>実施に当たっては，キャッシュレス決済の対象店舗から大手事業者等を除いたことや，プレミアム付商品券の券種を全参加店で利用可能な共通券と大型店では利用できない限定券の2種類を作成したことで，中小規模店舗への利用促進につなげました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンを用いたQRコード決済による非接触での決済手段としたことや，商品券の購入窓口の混雑を避けるために購入引換券の発送時期をずらすなど，新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施したことで，感染症対策と社会経済活動の両立を図ることができました。 |
| <p>15 映画のまち調布花火の開催（産業振興課）</p> <p>決算見込額：1291万5551円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により，調布花火の通常開催を見送り，実施方法の創意工夫による開催（市民限定の有観客や無観客）を目指しましたが，感染収束の見通しが立たなかったため，中止にせざるを得ませんでした。</p> <p>しかし，市や観光協会では，コロナ禍の影響により，令和2年度から令和3年度までの間，木島平村との姉妹都市交流事業を実施することができない状況が続いていたことから，一日も早いコロナ禍の収束による姉妹都市交流事業の再開を祈念するとともに，コロナ禍の影響で減少した木島平村の観光客増加の一助としていただくため，調布市観光協会の主催（共催：調布市）で花火の打上げを実施しました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により，調布市での花火の打上げは実施できませんでしたが，木島平村との姉妹都市交流事業として，花火の打上げを実施しました。 |
| <p>16 調布市観光協会事業の促進（産業振興課）</p> <p>決算見込額：1948万9649円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>新型コロナウイルスの感染症の影響により，観光振興施策の推進が困難な状況でしたが，感染防止対策を徹底しながら，実施可能な事業を確実に支援しました。</p> <p>「水木マンガの生まれた街 調布」の推進については，名誉市民水木しげる氏の御功績を称え，広く市民と偲ぶ取組である「ゲゲゲ忌」を，水木プロダクションや東映アニメーション等と連携して開催しました。</p> <p>水木プロダクションや東映アニメーション等の民間活力を活用しながら，観光協会と連携して取り組みました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施について，新型コロナウイルス感染症対策を講じながら，従前のようににぎわいをどのように取り戻すのか，また，今後の観光振興をどのように推進していくのかなど，新しい日常への対応策の検討とともに，実施可能な事業を確実に推進しました。 |

| | |
|---|--|
| <p>「映画のまち調布」の推進では、令和2年度に市が主催で実施を予定し、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった撮影体験ワークショップについて、製作したものの、使用されなかったセットや台本を活用し、調布市観光協会の主催で実施しました。</p> <p>その他、地域資源を活用したにぎわいを創出するため、深大寺地域における周辺店舗のスタンプラリーの開催や観光ボランティアガイドの活動などを支援しました。</p> <p>東京2020大会は、無観客での開催となりましたが、開催の機運醸成を高めるため、オンライントークイベントを実施し、イベントの最後には、観光協会と連携して花火の打上げを行いました。</p> | |
| <p>17 「映画のまち調布」の推進（産業振興課）</p> <p>決算見込額：897万3076円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、「映画のまち調布 シネマフェスティバル」をはじめとする映画関連事業の中止や一部中止が相次ぎましたが、イオンシネマ シアタス調布を含む映画・映像関連企業や団体と連携しながら、創意工夫による実施方法を模索し、実施可能な事業に取り組み、「映画のまち調布」の推進につながるよう努めました。</p> <p>ロケツーリズムの推進では、市長会の補助金を活用した3市町でのフィルムコミッション事業の展開を継続したほか、ロケーションジャパン大賞において調布市と映画「花束みたいな恋をした」がグランプリを受賞しました。</p> <p>フィルムコミッション事業としては、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、積極的なロケ支援に努め、地域の魅力向上につなげることができました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施について、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、今後の「映画のまち調布」をどのように推進していくのかなど、新しい日常への対応策の検討とともに、実施可能な事業を確実に推進しました。 |
| <p>18 産業労働支援センターによる創業の支援（産業振興課）</p> <p>決算見込額：630万9509円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>市内での創業を促す取組として、相談会・創活塾（創業塾）等セミナーの充実を図りました。</p> <p>創業しようとする方、創業して間もない方で、空き店舗等を賃借して開業しようとする方に対し、その空き店舗等の賃借料の一部を補助する創業チャレンジ支援事業に取り組み、创业者の支援に努めました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 518件（暫定値） ・センター利用者による創業件数 19件 |
| <p>19 いきいきとした農業経営（農政課）</p> <p>決算見込額：1102万8500円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>都市農業育成対策事業を活用して、認定農業者と農業経営に意欲ある農業者に農業用資材の購入、農業用機械設置等の経費を補助することにより、農業を安定的に継続できるよう支援しました。</p> <p>市民ニーズの高い安全・安心な農産物の品質の向上と供給を図るため、環境に配慮した農産物の生産を行う農家に有機質肥料を支給しました。</p> <p>都市農地保全支援プロジェクトでは、防災兼用農業用井戸の設置等、農地の持つ防災機能を強化する取組を支援し、都市農地の保全を図りました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・都市農業育成対策事業を活用した支援を実施しました。 ・有機栽培を行う農家102件に有機質肥料（3411袋）を支給しました。 |

| | |
|---|--|
| <p>20 農のある地域づくり（農政課）</p> <p>決算見込額：1247万7802円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>市内で生産された新鮮で安全・安心な市内産農産物の消費拡大をより多くの市民に図るため、令和2年度にリニューアルした農産物直売所マップを活用するとともに、JAマイズ等の関係機関と連携して市内産農産物の直売を促進しました。</p> <p>また、農作業を通じて自然に親しみながら生産の喜びを味わえる市民農園の新規開設に向けた取組を進めるほか、農家の指導を受けながら農作業を楽しむことができる農業体験ファームを確保することにより、市民が農業と触れ合える機会づくりに取り組みました。</p> <p>さらに、農産物の収穫までの過程を体験することによって、農業の大切さを実感できる学童農園について、上ノ原小学校にて新規開設したほか、ふれあい体験農園を実施し、生産者との交流を通して食育を推進しました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・農業体験ファームの確保に努めるとともに、市民農園の新規開設に向けた取組を進めました。 ・都市農業育成対策事業を活用した支援を実施しました。 ・有機質肥料を配付し、環境に配慮した農産物の生産促進を図りました。 ・市民ふれあい体験農園や学童農園を実施し、都市農業への理解促進を図りました。 ・上ノ原小学校にて、学童農園を新規開設しました。 |
| <p>21 農地の保全・活用（農政課）</p> <p>決算見込額：876万3000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>都市農地保全を推進するために、防災や環境保全など農地の多面的機能を一層発揮させるための施設整備など、農地保全に意欲的に取り組む農業者及び農業団体が行う農地保全の取組に対して、ソフト・ハード両面から支援しました。</p> <p>また、都市農地を保全していくため、生産緑地地区の追加指定と併せて、特定生産緑地の指定に向けた取組を進めるとともに、農業経営の支援や市民農園の運営、農業体験ファームの支援に取り組むことにより、都市農地の保全・活用に努めました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・特定生産緑地の指定に向けた取組を進めました。 ・「都市農地保全支援プロジェクト」を活用し、農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援しました。 |
| <p>22 スポーツ施設の整備（スポーツ振興課）</p> <p>決算見込額：1億6809万3000円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>市内の各スポーツ施設において、市民が安全で快適に利用できるよう、スポーツ施設の維持保全に取り組むとともに、令和2年度から引き続き、総合体育館の特定天井及び床改修、空調設備工事等を実施しました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館空調設備設置工事 ・総合体育館の特定天井及び床等改修工事 ・大町スポーツ施設体育館空調設備設置工事（令和2年度予算） ・大町スポーツ施設大運動場防球ネット増設工事（令和2年度予算） ・施設の老朽化に伴う修繕等 |
| <p>23 東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出（スポーツ振興課）</p> <p>決算見込額：382万円 <基本計画事業 行革P その他></p> <p>東京2020大会開催を契機とし、東京都や競技団体、近隣市や体育協会等の関係団体との連携を更に強化し、市民がスポーツに親しめる機会の創出を図りました。</p> <p>また、障害者スポーツ情報の積極的な広報活動や各種障害者スポーツ体験事業等の開催や福祉・スポーツ分野の関係者による協議体を活用した事業の実施など、大会開催後のレガシー創出を見据えた障害者スポーツの普及に取り組みました。</p> | <p>【中止となった主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・29市町村連携の市町村ポッチャ大会 <p>【開催した主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア陸上体験教室 ・小学生タグラグビー大会 ・障害者スポーツ体験会 ・三市ラグビーフェスティバル |

| | |
|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・NTT東日本バドミントン部と連携したオンライン事業 ・「スポーツ×共生社会」シンポジウムのオンライン開催 ・調布市障害者スポーツの振興における協議体の都との連携事業（講演会） ・市内で開催される競技を中心とした競技団体との連携を積極的に図りました。 ・調布市障害者スポーツの振興における協議体を活用し、誰もがスポーツに親しむ機会の創出に向けた取組を実施しました。 |
| <p>24 FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進（スポーツ振興課） 決算見込額：143万円 <基本計画事業 行革P その他> FC東京が行うサッカー教室等の地域貢献活動に対して経費の一部を補助するなどその活動を支援し、市のスポーツ振興、青少年の健全育成、福祉、地域振興等のまちづくりを協働で推進しました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもサッカー体験教室等FC東京の地域貢献活動を支援しました。 ・FC東京との連携事業の更なる充実を図り、市内のみならずホームタウン6市と連携した応援企画を実施することで、地域全体のスポーツ機運を高めました。 ・市内スポーツ団体との連携を図りました。 |